



平素より、本プログラムをご支援頂き誠に有難うございます。

2020年4月の新学期が始まり、東工大－清華大大学院合同プログラムは16年目を迎えました。

新たな目標とともにスタートする筈の春でしたが、残念ながら今年度の幕開けは年初より世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響により、本学でも入学式などの行事が全てが中止になるなど、いつもとは全く違った新年度を迎えました。

東工大では、学生の皆さんの大学構内への立ち入りが制限され、授業は基本的にオンライン受講となるなど、学生の皆さんには従来の講義スタイルから一変した中で研究活動を行うという大変に厳しい日々を過ごされています。

そして夏休みの時期を迎えた今、新型コロナウイルス感染症の第1波が落ち着いたと思われた後も日本では第2波と思われる兆候が各地でみられ、感染者数の増加が日々続き、残念ながら沈静化の兆しが見えません。

このようないつもとは違った厳しい状況の中、本プログラムでも様々な影響が出ています。

まず清華大学で研究を続けていた東工大14・15期生は、今年2月、現地での感染拡大のため予定滞在期間を急遽切り上げ緊急帰国しました。その後は日本から清華大学の授業をオンラインで受講するなど対応していますが、研究計画に影響が及んでいます。

また日本で研究を続けている清華大15期生につきましても同様に、日本国内の感染状況が収束しない中で、オンライン授業の受講や、研究室での実験は登校時間に制限がついた中で行うなど、不自由な研究環境が続きました。

更に、今年度両校から渡航を予定していた清華大16期生と東工大16期生は、両国の渡航禁止措置が継続しているため、渡航が保留となっています。このことにより、本年8月現在、清華大16期生の来日と、東工大16期生の清華大学への渡航は約半年程延期となる見込みです。

夏のこの時期、日本で研究を行ってきた清華大生の修論発表が終わるタイミングに合わせて、日本を離れる清華大生、及び清華大学へ向かう東工大生を送り出す会を、スポンサー企業の皆さまをお招きして毎年開催して来ましたが、人が集まる会食等の実施についても制限されており、今年は人が集まるイベントの開催が出来ない状況となっております。

そのため本プログラムでは、様々な困難な状況の中、1年間日本での研究を終えて中国に帰国する清華大15期生8名を送り出すイベントとして、「Zoom 遠隔」開催による「フェアウェル発表会」を企画しました。今回はその様子につきましてご報告申し上げます。

## 東工大－清華大大学院合同プログラムフェアウェル発表会 開催－2020年8月4日（火）

この度、本プログラムで初の試みとして、Zoomによるオンラインイベント「東工大－清華大大学院合同プログラムフェアウェル発表会」を、8/4(火)午後6時より開催致しました。

このイベントは、この8月で日本での1年間の研究期間を終える清華大15期生8名の学生の皆さんに、日本で過ごした日々を振り返り、日本語で1分間スピーチをして頂くかたちで行いました。





イベントには、東工大プログラム関係教職員、プログラム生（東工大生）、清华大学プログラム関係者の皆さまにお声がけをし、当日は東工大の先生方を始め、北京の清华大学から12名の先生方がオンラインでご参加くださり、全体では40名を超える皆さまにご参加頂きました。

今回、中村吉男先生の司会進行で、清華大生には順番にパワーポイントで作成したスライド1枚を紹介しながら日本語で発表して頂きました。その後各自が中国語で清華大の先生方に向けて発表し、続いてQ&Aタイムでは参加者の皆さまから発表者にざっくばらんに質疑応答頂くスタイルで進んでいきました。

それぞれの学生の皆さまからは、発表に際して、ご指導くださった双方の先生方への感謝の言葉と共に、紹介されたそれぞれのパワーポイントには、研究室の皆さまとのご様子や訪れた日本各地の美しい景色、訪問先の地元の方々と触れ合っている写真、また味わった料理の数々の写真などが紹介され、研究と並行して日本での滞在を楽しめた様子が伺えました。

清华大学の日本語が堪能な先生方からは、発表を行った清華大生の日本語が非常に上達している事に感嘆したとの言葉が聞かれ、発表会は終始なごやかな雰囲気が進みました。

また、最後には司会の中村先生から、「中国から一時帰国中の東工大生からも中国語で一言」、という予定外の急なご指名があり、それを受けた東工大生からの素晴らしい中国語でのご挨拶もありました。これには発表を終えた清華大生からも応援の笑顔が多数見られました。

清華大・北京事務室の王亜民さんには、イベントの随所で適宜日本語から中国語に通訳を入れて頂き、テンポよく話題を共有できたため、スクリーンから見える皆さまの表情からは、とても楽しんで頂けた様子でした。

今回のイベント開催につきましては、Zoom 遠隔開催という初めての試みであったため、スポンサー企業の皆様への当日のご案内を控えさせて頂きました。今回のトライアルで、日本国内のみならず北京の清华大学の先生方やスタッフなど、皆さまそれぞれの場所からZoomにアクセスして頂きましたが、映像や音声、発表資料などは問題なく共有できる事が確認出来ました。

この成功を踏まえまして、今後はスポンサー企業様にご参加頂くイベントを企画して参りたいと思います。

尚、今回のイベントの様子は録画映像にて下記 URL よりご覧いただけます：

本イベントの動画 - YouTube URL : <https://youtu.be/yMeVmerylyQ>

\*こちらの動画は上記 URL からのみ視聴可能な「限定公開」設定となっております。そのため関係者様のみで共有の程、お願い申し上げます。

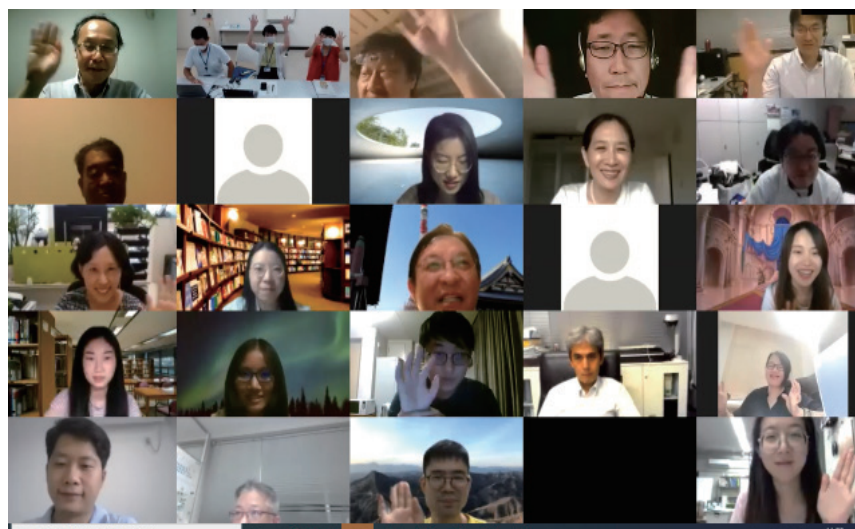




清華大生が帰国便を探し始めた7月中旬時点では、日本ー中国間で運行している航空機の直行便は、中国国内へは北京以外の指定された都市（5～6都市）のみ運行し、便数も1日1～2便のみ予約可能な状態となっていました。その後便数は毎月少しずつ増える予定のようですが、日本から北京への直行便は、8月現在も飛んでいません。このような限定された運行状況の中、予約出来る座席数には限りがあり、また料金もかなり高額となっているため帰国予定の清華大生は座席確保に大変苦労したようです。

それでも、7月中になんとか8名全員の航空券の予約が完了し、それぞれ8月初旬から9月下旬にかけて中国に帰国できる事になりました。

中国へ帰国後も、現地で2週間の自主隔離が必要なため、彼らが家族の元に帰れるまでには今しばらくの時間を要しますが、清華プログラムの東工大関係者一同、清華大生全員の無事の帰国・帰郷を心より願っています。



東京、そして北京からたくさんの方々にご参加を頂きました！

昨今の新型コロナウイルスの感染者推移から鑑みて、今後しばらくの間は人が集まるイベント開催は厳しい状況が見込まれますが、今後はZoomオンラインでのイベントの開催でスポンサー企業様と学生が交流できる企画を近く検討したく思っております。

具体的なお知らせが出来る段階となりましたら、改めましてご案内を差し上げたく存じます。

それまでの間少々お時間を頂戴致しますが、引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、今年は例年にも増して暑さの厳しい夏となり、加えて新型コロナ対策でマスク着用が推奨されていますため、色々と対策に追われる日々ではございますが、皆様に於かれましてはくれぐれもご自愛くださいますよう、また、貴社の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。